



船長がタモ取りしてくれる



▲朝イチに幹事の岸田さんにヒット



▲オニカサゴは今後も期待度◎



▲当日最大は岸田さんが釣った800グラム級



田村の初チャレンジ「オニカサゴ」をキャッチ



ヒメも上がった

仲間と仕立船で沖釣りホリデー!

ツリトモさん 釣友 いらっしゃ〜い!



第6回のツリトモ

●取材でお邪魔させていただいたのは、東京都新宿区の岸田衛さんが幹事を務めるグループ。釣りはオニカサゴ&アジのリレーです。

Charter boat fishing to enjoy with friends.

vol.6 KORYOMARU

●撮影文/古河好夫

三浦半島長井新宿港 孝漁丸の オニカサゴ&アジ

初挑戦のオニカサゴで 全員本命をゲット!!

今回の「仲間と仕立船で沖釣りホリデー! ツリトモさんいらっしゃ〜い!」は東京都新宿区の岸田衛さんがオニカサゴ&アジのリレーで仕立てた三浦半島長井新宿港の孝漁丸にお邪魔させていただきました。 釣行日は8月27日、4人の釣り人を乗せ5時に出船。浦島憲船長に当日のプランをうかがうと、まずは港近くの亀城根周りでオニカサゴを釣る、そのあと長井沖でアジを狙うとのこと。 20分ほど走ったところでポイントに到着、水深100メートル前後で開始となる。皆さんオニカサゴは初挑戦のため船長から、「タナをまめに取り直しなが

岸田さんが釣り上げた 600グラム級の本命



オニカサゴは片アジのピン仕掛けでオモリは10号を使用

オニカサゴのエサはサバの切り身

アジのコマセはイワシのミンチ

底から50センチくらいを探ってみてください」とのアドバイス。開始から30分、幹事の岸田さ



は大きいのがっかり上がるんだけど」と浦島船長。 その後は小森さんが1尾目と同サイズのオニカサゴを追加し、幹事の岸田さんは500グラム級と当日最大となる800グラム級の本命を釣り上げた。

ここで満足した様子の岸田さんに孝漁丸の気に入っている点をたずねてみた。 「ここは半年前から利用するようになったんです。船長が優しく、とにかく釣らせようと頑張ってくれるところがいいですね。少人数で仕立てられるし女性も連れてきやすいです。今回はスルメとオニカサゴで予約を入れています。初オニカサゴで3尾も釣れたので今日は大満足です」

9時半になったところで場所を移動しアジ釣りを開始する。水深は70メートル前後でタナは底から4メートル。 釣り始める時皆さんの竿にすぐにはアジが出たが、掛かったのは40センチ級のサバ。その後はサバ祭り状態。アジがエサを食う前にサバが食ってしまうようだ。

次に竿を曲げたのは右舷ミヨシで竿を出していた東京都中央区の横山京介さん。タモに収まったのは45センチほどのイネゴチ。横山さんはこの前にオニカサゴを2尾釣っていたが残念ながらリリースサイズ。その後アヤメカサゴを釣り上げた。

右舷トモで釣っていた横浜市の田村隆典さんにもアタリがきた模様。巻き上がるのを待っている海中にオレンジ色の魚が浮上。船長がタモですくい上げて無事初オニをゲット。なんともうれしそうな笑顔をみせてくれた。 「今日は大きいのが出ないねえ。日によつて

ツリマンさん いらっしゃい!

釣友 from Captain

9月中旬以降のおすすめはオニカサゴやアマダイ、カワハギ、スルメ、剣崎沖のワラサといったところです。釣り物によってはリレーで狙うことも可能なので相談してください。頑張って釣らせませすよ!



▲浦島 憲船長

料金プラン

■5名まで4万5000円。1名増し9000円。カツオ、キハダは電話にて確認。女性、子供は1000円引き。最大で12名までで、8名までが釣りやすい。下船後に船着き場に精算。船は5トン未満。

利用ガイド

【予約方法】
電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保

【出船時間】
5～12時(季節によって変動あり)。沖揚げりまで最大7時間

【エサ、氷、仕掛けなど】
氷付き。エサ、仕掛けは別料金

【レンタルタックル】
電動のセット(ロッドキーパー付き)2000円

【集合場所】
長井新宿港に集合。車は船着き場に隣接する駐車場に停める(有料。1台につき200円)

【船宿アクセス】
横浜横須賀道路・衣笠ICより三浦縦貫道路を経由して林IC下車。三浦縦貫道路林入口交差点を左折、国道134号より荒崎入口交差点を右折、長井新宿港へ



▲釣り座には海水循環させられるオケが設置してある



▲手入れの行き届いたレンタルタックル(電動のセット)が2000円で借りられる



▲イカツノ投給料は無料で借りられる



最大で12名まで。8名までが釣りやすい

| 釣り物 | 約期 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| オニカサゴ | | | | | | | | | | | | | |
| スルメイカ | | | | | | | | | | | | | |
| マダコ | | | | | | | | | | | | | |
| キハダ&カツオ | | | | | | | | | | | | | |
| アカムツ&クロムツ | | | | | | | | | | | | | |
| キンメ | | | | | | | | | | | | | |
| マダイ五目 | | | | | | | | | | | | | |
| イナダ&ワラサ | | | | | | | | | | | | | |
| カワハギ | | | | | | | | | | | | | |
| アマダイ | | | | | | | | | | | | | |
| ヒラメ | | | | | | | | | | | | | |
| シロギス | | | | | | | | | | | | | |
| ヤリイカ | | | | | | | | | | | | | |

▲船着き場のすぐ隣が駐車場

三浦半島長井新宿港 孝漁丸

KORYOMARU
*Nagai-Shinjuku Port, Miura Peninsula
☎046・856・2479 (詳細は巻末の情報欄参照)

三浦半島長井新宿港の孝漁丸は、現役の漁師でもある船長が相模湾の多彩な釣り物を楽しませる仕立専門の船宿。漁との兼業で仕立船を始めたのは今から30年以上前のことで、現在は先代の跡を継いだ浦島憲船長が舵を握る。船長は明るく元気な人柄で実に親切。船上はまるで親戚のお兄ちゃんの船に乗っているような雰囲気でもなんとも愉快。釣り物はもちろん乗船人数などについても快く相談に乗ってくれる。



後半は浦島沖のメイン



食いが立つと一荷で釣れることも



▲サバはまさに入れ食い状態



25センチ級の食べごろサイズも上がった



▲アジ&サバは今後も狙い目



1投目から掛かったのは40センチ級のサバ

しばらくサバの猛攻が続いたが、残り1時間を切るとそれも落ち着きポツポツながらアジが顔を見せるようになった。サイズは20〜25センチ級で一荷で釣り上げる人も。しかしそれも長くは続かず12時の沖揚げりを迎えた。

さて9月中旬以降の孝漁丸のおすすめだが、まずはオニカサゴとスルメイカ。釣り場はいずれも長井沖や沖ノ瀬、城ヶ島沖、洲ノ崎沖の水深100〜150メートルで、釣り場は状況に応じて選ぶそう。

目下スルメイカは日によってムラが激しく釣果がなかなか安定しないが今後に期待したいところ。オニカサゴは0.5〜1キロ級が主体でウツカリカサゴやヤマカサゴなども交じる。

オニカサゴとスルメイカは釣り場が近いのでリレーも可能。一度で二度おいしいトリピーターも多いそう。

「オニカサゴとスルメイカはとくに得意な釣り物なのでぜひ挑戦してみてください」と船長。秋〜冬にかけてはアマダイも人気を集める。釣り場は長井沖や江ノ島沖などの水深100メートル前後で30センチ級中心に40センチオーバーが交じる日も。運

がよければシロアマダイも顔を見せるそう。

長井沖のカワハギも面白くなる時期で水深15〜30メートルを探る。サイズは25センチ前後が主体で30センチ級が上がることもめずらしくない。

長井沖や城ヶ島沖のクロムツやアカムツもおすすめだそう。クロムツは水深150〜200メートル前後、アカムツは200〜300メートルを釣る。アカムツは食えば35〜40センチ級の良型が多く日によっては1キロ級のアラも上がるとか。そのほか剣崎沖のワラサも本格化すれば受け付ける。

人気ターゲットが目白押し。孝漁丸。秋の釣行プランにぜひ加えてみてはいかがだろうか。

▲今後はオニカサゴ&スルメイカリレーがおすすめ



▲今後はオニカサゴ&スルメイカリレーがおすすめ

